

研修会に係る実践事例



推進校は、動物の適正な飼育や動物愛護の心を培う体験活動の実施に向け、研修会を行っています。その際、学校担当獣医師から、動物飼育に関わる専門的な内容について指導を受けています。



新宿区立東戸山小学校

【実践の概要】

- 本校では、低学年の教員を中心に日頃の飼育活動から気付いたことや疑問に思ったことを、学校担当獣医師が授業の打ち合わせや授業などで来校した際に意見交換を行い、飼育する上での留意点や飼育環境等について助言していただきました。また、獣医師の立場から児童に留意してほしいことやヤギの特徴から飼育の仕方についての指導を受けました。



教職員に向けた研修

【学校担当獣医師や保護者等との連携】

- 事前に担当教員と学校担当獣医師との間で打ち合わせを行い、飼育をする上での留意点や飼育環境等について、より良い飼育が行えるように指導を受けました。

また、例年は飼育に携わる教職員や地域・保護者・ボランティアを中心に獣医師との研修を行っていましたが、今年度は、加えて全教職員を対象に学校担当獣医師との研修会を行い、学校での飼育活動が、持続可能でより良いものになるよう意見交換し、助言を受けました。

【教員の反応】

- 動物飼育活動の経験がある教職員でも、ヤギの飼育については不安を感じることもありましたが、学校担当獣医師に確認することで安心して飼育活動に臨むことや児童への指導をすることができました。
- 担当の教職員だけでなく他の教職員にとっても、動物飼育の留意点等について知る機会を設けることができ良かったです。
- 飼育に携わる教職員や地域・保護者・ボランティアを対象に学校担当獣医師との研修会を行ったことで、飼育方法に関して不安なことについて助言を受けられ、また今後のより良い飼育活動のあり方についても意見を交換することができました。



中野区立白桜小学校

【実践の概要】

- 学校担当獣医師をお招きし、教員を対象に、モルモット、チャボの飼育を中心とした学校における動物の飼育についての意義と方法を学ぶ研修会を実施しました。
- 動物が持つウイルスや感染症などの対策について、学校担当獣医師から専門的なお話を伺いました。
- 適した飼育の仕方や、動物の調子が悪くなった場合の対処の仕方などについて、写真を交えながら詳しく説明していただきました。



チャボの爪切りの仕方の指導



教員がモルモットと関わる体験

【学校担当獣医師や保護者等との連携】

- 事前に教員から学校担当獣医師への質問を出し、それに回答していただくとともに、チャボの爪切りの仕方やモルモットの抱き方など、実際に飼育している動物と触れ合いながら、助言をいただきました。
- 教員から出た疑問に回答していただいたことで、今後の動物との関わり方や、飼育環境について具体的な改善策や方法を知ることができました。

【教員の反応】

- 学校担当獣医師から指導を受け、学校での適切な飼育活動の重要性を理解できました。
- 担当の教員だけでなく、学校全体の教員が動物飼育について知る機会を設けることができたので、共通理解ができました。また、学校担当獣医師との連携を図ることで、学校現場にあった具体的な対応を知ることができ良かったです。
- 動物を飼育する中で、気を付けるべきポイントが具体的に理解できました。
- 動物飼育に対しての不安が解消されました。



青梅市立第七小学校

【実践の概要】

- ウサギ小屋の広さと、それに伴う適正な飼育数、また、寒い冬のウサギの管理方法などについて、御指導いただきました。



寒さや暑さに備えて、土を掘りやすくした。

【学校担当獣医師や保護者等との連携】

- 適切な飼育頭数や小屋の状態について、学校担当獣医師に御指導いただきました。また、改善された状況を確認していただき、維持のためのアドバイスをいただきました。

【教員の反応】

- ウサギ小屋の広さと適正飼育数についての話を伺い、それに伴って、将来的には、ウサギの不妊手術を検討する必要があるということ学びました。
また、寒い冬のウサギの管理方法について、特に生後7か月程度のウサギは、屋外ではなく、校舎内にて、かつゲージのまわりを布などで覆うなどの対策を施して管理するとよいというアドバイスをいただきました。早速、教わったことを実践し、2月現在、無事に、かつ順調にウサギが育っています。



青梅市立新町小学校

【実践の概要】

- 8月と12月に学校担当獣医師を講師とし、教職員向けの研修会を行いました。
 - ・8月 飼育小屋の環境、エサについて等
(管理職、飼育委員会担当教員、生活科担当教員を対象)
 - ・12月 ウサギの飼育について
小学校での動物飼育について
(全教員対象)



ウサギの体重測定

【学校担当獣医師や保護者等との連携】

- ウサギの生態や飼育、小学校における動物飼育の教育的価値について、教員に向けて講演をしてもらいました。
- ウサギの飼育環境を学校担当獣医師に見ていただき、小屋の状態、エサの種類、エサの分量は体重に合わせる事、野外の飼育に必要な物について教わりました。
- ウサギの体重測定を行い、学校担当獣医師からそれぞれのウサギに合ったエサの分量の指導を受け、世話をしています。
- 週末の飼育、暑い時期や寒い時期の飼育小屋に必要なだと思ふものをリストアップし、学校担当獣医師に確認してもらい、給水機、飼育小屋の中に置く個室、すのこなどを購入、設置しました。

【教員の反応】

- 動物飼育の教育的価値を知ることができ、飼育小屋の管理の仕方やウサギの健康管理の知識を得ることができました。
- 研修会を行ったことで、教員がウサギに関心をもち、ウサギとの触れ合いを楽しみながら世話ができるようになりました。